

平成6年度飯山北高等学校卒業30周年記念同窓会



(学級担任の先生方)

日 時 令和7年8月16日(土) 受付午後5:30～
午後6:00 開 宴
会 場 びっくわん ホール

【 次 第 】

- | | 進行 幹 事 |
|-------------|-----------|
| 1. 開 会 | 5. 乾 杯 |
| 2. 幹事長あいさつ | (祝 宴) |
| 3. 桂雪会長あいさつ | 6. スライド上映 |
| 4. 校長あいさつ | 7. 校歌斉唱 |
| | 8. 閉 会 |

飯山北高等学校校歌

作詞 足立鋏太郎 作曲 上田文三郎

甲斐の高嶺に降る雪は 融けて溢れて父となり
飛驒の深山に置く露は 落ちて集いて母となり
流れ相い合う犀千曲 末は越路に行く水の
勢い猛く嵩増して 四つの郡の中を衝く

早瀬綾どる川舟の 果つるはこと飯山に
設けし教えの中にわを 踏み分くる身は彼方なる
高社山も此方なる 網切淵も及びなき
高く深かる親の恩 師の恩恵を戴きて
共にぞ修むる人の道 互に励む学びの業
朝な夕なに習い得て 国に尽くさん時を待つ



塵の世界は風荒く 浮世の海は波高し
されど鍛えし身の舟に 徳の帆を上げ知恵の舵
取りて進まばその風も その荒波も物ならじ
矢よりも早き三年を いかで空しく過されん

緑色濃き高社 山はいよいよ神さびて
立てる姿を写すなる 千曲の川に行く水は
永久に流れて空ひたす 越の海とぞ成りぬなる